

News Release

2022年9月22日

2022 日本パッケージングコンテスト 「ロジスティクス賞」「電気・機器包装部門賞」をダブル受賞

株式会社日立物流は、公益社団法人 日本包装技術協会主催「2022 日本パッケージングコンテスト」において、「蒸気タービンブレードの輸送箱変更」がロジスティクス賞を、「電動トロリ包装のオール段ボール化」が電気・機器包装部門賞をそれぞれ受賞しましたので、お知らせします。

1. 蒸気タービンブレードの輸送箱変更：ロジスティクス賞

従来の木箱包装は、梱包重量が大きく輸送費が高くなることや、梱包・開梱作業時に多くの作業員と作業時間を要するなど、コスト・作業効率の面で課題を抱えていました。そこで、木箱包装から、木材パレットの上に強化段ボールの包装箱を置き、製品格納後にキャップを被せる仕様に変更しました。新仕様では、梱包・開梱に掛かる作業時間を従来比で20%削減し作業効率を向上させるとともに、包装材の大半を強化段ボールとしたことにより、梱包を軽量化し輸送コストを60%削減しています。さらに、輸送箱廃棄時のCO2排出量を88%削減させることができ、環境にも配慮した包装を実現しました。



改善前・改善後の比較

News Release

2. 電動トロリ包装のオール段ボール化：電気・機器包装部門賞

従来は外箱を段ボール、内装材に木材を使用していましたが、環境負荷低減の観点から、木材を使わないオール段ボール化による包装を開発しました。オール段ボール化にあたっては、製品重量を考慮し、内装材に木材と同様の機能と強度を持たせることが課題となります。そこで、内装材の四隅を八角形構造とし耐圧機能を持たせ、さらに内装材段ボールのふた部分を逆折りにして、側面を2重構造とすることで厚みを出し、耐圧強度を高めました。また、持ち上げた際の底抜け防止のため、底面に強化段ボールの台紙を採用し、従来同様の機能と強度を持った包装を実現しました。このオール段ボール化によって、木材使用量を100%削減するとともに、材料費を従来比で20%削減しています。



改善前・改善後の比較

当社グループは、最も選ばれるソリューションプロバイダーをめざし、ビジネスコンセプト『LOGISTEED』のもと、事業・業界を超えた協創領域の拡大を図り、新たなイノベーションを実現していきます。

【ご参考:関連 Web サイト】

■当社包装ソリューション

<https://www.hitachi-transportssystem.com/jp/solution/packaging/>

以上

【お問い合わせ先】

<担当窓口> (株)日立物流 ロジスティクスソリューション開発本部
ロジスティクステクノロジー部

TEL: 03-6263-2832

<本リリース内容> (株)日立物流 広報部

TEL: 03-6263-2803